

姫路市からマゴジャクシミゾキノコシバンムシの記録

檀野将平

マゴジャクシミゾキノコシバンムシ *Mizodorcatoma magojyakushi* Sakai, 1996 (図1) は愛媛県重信町で採集されたマゴジャクシより得られた個体をもとに記載された種である (Sakai, 1996). 本種を含むミゾキノコシバンムシ属 *Mizodorcatoma* は日本から4種が知られているが、これまで本種の本州での記録は確認されていない. 本種は外見がツガタケミゾキノコシバンムシ *M. pinicola* に酷似するが、雄交尾器先端が丸くかぎ型とならないこと (図2) で容易に区別できる.

筆者は、姫路市において1月と10月にマンネンタケ属の一種 (図3) より多数の幼虫を採集しているので兵庫県初記録として報告する. 1月に採集した個体は幼虫のまま越冬し、4月の下旬から5月の中旬にかけて羽化し、10月に採集した幼虫 (図4) は10月下旬から11月下旬にかけて羽化することを確認した.

【採集記録】

43exs., 兵庫県姫路市北原御旅山, 4. I. 2022.(幼虫採集), 8exs., 12, X. 2022. (幼虫採集) 筆者採集

○参考文献

M. Sakai, 1996. Three New Dorcatomine Species (Coleoptera, Anobiidae) Associated with Ganoderma Fungi in Japan and Taiwan. *Jpn. J. syst. Ent.*, 2(2):275-281

(Shohei DANNO 兵庫県姫路市)



図1 姫路市産マゴジャクシミゾキノコシバンムシ.

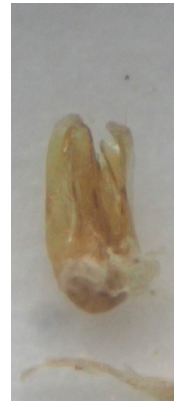


図2 交尾器.



図3 マンネンタケ属の一種.

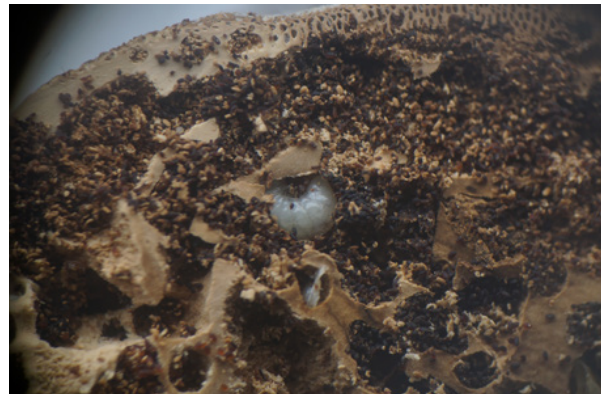


図4 幼虫.